

市民に届く 物価高対策を



「神戸市の物価高対策はこれで終わり？」

フードサポートこうべ(食料品の配布)に長い列ができ、日本共産党議員団が議会で取りあげている中で、一会場1000人分の支援が4000人分になりました。しかし、家から出られず困っている方には届きません。他自治体のような国保料の減免や現金給付など広く行きわたる支援を行うべきです。

また、日本共産党議員団の質疑を通して、暫定ですが物資不足のもと、指定ゴミ袋以外でも回収を可能にさせる提案が実現。この間、中東情勢のもと苦しむ事業者や医療機関へコロナ時並みの支援を求め、申し入れも行いました。



東灘での食料配布の列

地域の要求でがんばっています



住吉台 県営住宅

老朽化でブロックが落ちるなど危険個所の改善を求めています。



5階から落下し 砕けた破片

御影 だんじり

郡家地域での参加は今年20年目になります。



住吉 阪神住吉駅

4月阪神住吉駅でのリニューアル工事が終了し、2基のエレベーターが設置されトイレもきれいになり、道路幅も広がりました。



六アイ ライナー混雑

来年5月以降県庁舎の暫定移転などで1300人以上通勤が増えるとのこと。対策を求めています。



山手地域 道路整備

住吉川沿いの道路整備を求めています。以前指摘した落合橋周辺道路も整備されました。



岡本・田中 バス停設置

33系統の復活を求める中、4月西岡本3丁目に新バス停が設置。引き続き、御影方面のバス復活にがんばります。



バス減便反対!!

東灘の足を守る

署名 実施中



バス支援カットで 減便!!

こんにちは。私は今毎日みなさんのお宅を回り、東灘区民の足を守るための新しい署名を集めています。神戸市は、市バスへの支援を減らした上で、座席27席の2倍「55人程度」の乗車を目安にする新しい方針のもと黒字路線までも減便しています。杖をつく方や、子連れの方から転倒の不安の声、車イス利用者から「乗れなくなる」との声があがっています。

署名では、「33系統が無くなり、図書館、区役所や住吉駅に行けない」「山手からの移動の大変さをわかって」「阪国バスも減便した」「ライナーを安く」「みなと観光の敬老パスをもっと使いやすく」の声に応え、市に見直しを求めています。



市役所建て替え費用は2倍に!!

一方で、市の市役所の建て替え費用が110億円から216億円に2倍になります。ここにはポンとお金を出せても、バス減便を元に戻す3.7億円は払えないという市やそれを認める他党の態度は許せません。移動を制限し、神戸市の元気を奪う姿勢を見直させましょう。

2025年9月19日 交通局審査で質問

神戸市議員

西ただす

毎日駅前 市政報告

JR住吉駅ほか実施中!!
ご相談などあれば気軽に
声をかけてください。

日本共産党 神戸市会報告 東灘区西部版 2026年夏号
日本共産党神戸市議員団 検索

東灘区連絡先
住吉宮町3-15-8 TEL 414-8875

発行/日本共産党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL 322-5847 FAX 322-6165

子育てを応援する神戸へ



コベカツ 子どもを置き去りにしないで



8月に公立中学校の部活動がすべて終了し、地域団体に移行するコベカツがスタートします。西ただす議員は、教育委員会に対し移動が難しい障がいを持った生徒への配慮を聞きました。すると、コベカツ登録団体約1100のうち、受入れ表明は12団体しかなく、移動支援についてはわからないとのこと。

また、夜間の女子生徒の自転車移動への不安の声を紹介。西議員は、地下鉄海岸線での中学生まで無料乗車ができる制度を市バスなどへ広げることが提案しました。

今、部活の参加率は8割強ですが、ある校長先生は、「今後は5割台になるのでは」と言われています。引き続き、高い月会費問題の解決も求め、生徒の居場所を失わせない対応を求めています。

移行までのスケジュール



給食 実現

給食の改善、中学校でも無償化へ

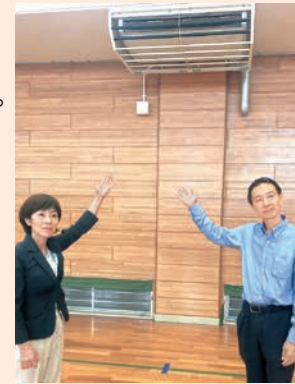
市民との粘り強い運動で、4月から小学校給食は無償となり、不登校やアレルギーなどで給食が食べれない生徒には、月5200円の給付が行われます。さらに西議員の質問で月に1度でも食べたなら給付が0になる基準が見直されました。また、物価高騰のもとで、半額支援の中学校給食を完全無償化や、「隠れ教育費」と言われる教材費や修学旅行費への支援も求めています。



本山中学校

体育館の冷房の増設が決定

この間、全市で体育館での冷房の設置を進めさせてきました。しかし各校4台だけ。今の地球温暖化のもとでは「全然効かない」という声が上がっています。こうしたもとで、4、5年かけて、教育委員会は冷房を増設するとし、近々設置される本山中学校を視察しました。各校ですでに夏の行事を体育館でできない事態も起こっています。西議員は、早急に、全校で体育館などでの冷房の増設を進めるためがんばります。



まだ前県議と現在の冷房施設の確認



王子公園・動物園

住民訴訟

神戸市が進める大学誘致を優先した王子公園再整備により、動物の種類が4割減らされ、地域のスポーツ環境が大きく損なわれようとしています。神戸市は、王子プールを閉園し、「しあわせの村に行ってもらいたい」と答弁。計画の見直しを求める陳情に他党は背を向けています。

市は裁判でも「近くで施設に通えていたというが、市内にあるから問題がない」と言い出す始末です。久元市長のトップダウンの姿勢の象徴となっている王子公園・動物園問題。住民のみなさんを応援する立場でこれからもがんばります。



神戸地方裁判所前にて

災害対応を隠れみにした

特定利用 空港

神戸空港の「軍事利用」はストップを



国は、軍事利用を想定し、自治体の空港や港を普段から自衛隊が活用できるようにする「特定利用空港」に神戸空港を指定しようとしており、今、神戸市の対応が問われています。「災害時の対応」を前面に押し出していますが、実際には戦時を前提とした戦闘機による急離陸や急発進訓練(タッチ・アンド・ゴーなど)での爆音や住民への安全が全国的に大きな問題となり、和歌山県の南紀白浜空港では勝手に米軍との一体訓練にも使用され、知事が抗議の声を上げる事態となっています。

この3月、50年ぶりに、核兵器を保有していない証明書を提出するルール(非核「神戸方式」)を破り、神戸港にアメリカの艦船が入港しました。

イラン攻撃のため、すでに日本の多くの港や空港から戦闘機や艦船が出撃しており、急速に日米の軍事の一体化が進み、神戸が攻撃目標となりかねません。

神戸の平和を脅かす「特定利用空港」への動きをとめるために声を上げていきます。